






学校教育目標

知性を磨き、情操を豊かにし、健康でたくましく生きる子どもの育成

教育目標	知性を磨く子ども	情操を豊かにする子ども	健康でたくましい子ども
	進んで勉強する子ども（知）	生き生きとして思いやりのある子ども（徳）	丈夫でたくましい子ども（体）
めざす児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く学習に取り組む子 ○自分の考えをもち伝える子 ○家庭学習や読書に進んで取り組む子 	<ul style="list-style-type: none"> ○元気にあいさつする子 ○なかよく助け合って生活できる子 ○進んで仕事をする子 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをもって心と体をきたえる子 ○基本的な生活習慣が身に付いている子 ○健康や安全に気をくばる子
重点	伝え合いを大切にした授業づくり	良さを認め、一人ひとりが生かされる活動	目標を設定した体力づくり
改善の手立て	<ul style="list-style-type: none"> ①考えを持たせ、発表させる授業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・聞く→考える→伝え合う ・言語活動を重視した授業実践 ②伝え合うよさが分かる交流 <ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・集会 ・行事 	<ul style="list-style-type: none"> ①一人ひとりのよさやちがいを認め合える学級集団作り（QUテストの活用等） ②児童会活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいを大切にしたい縦割り班活動 ・リーダーの育成 ③心が通い合うあいさつの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①年間を通した体力づくり レク運動の充実 <small>マラソン・なわとび</small> ②体育の授業の充実 体力テスト結果の活用 ③新型コロナウイルス等感染症の予防

ま な び フ ェ ス ト ・ し つ け フ ェ ス ト

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習がわかる子どもをめざします。（低学団 90%以上 高学団 80%以上） ・学校の学習と結びつけた家庭学習（宿題）に取り組ませます。 ・年間3回、「学力向上月間」を設け、学習内容の定着を図ります。 ・年間読書目標冊数を定めて、その達成を目指します。 ※低学年…90冊 中学年…70冊 高学年…45冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで気持ちのよいあいさつと返事ができるようにします ・感謝の気持ちを素直に伝えられる子を育てます。 ・「厳美っ子の約束」を守り責任をもって行動する子を育てます。 ・縦割り班活動に取り組み、協力や思いやりの心を育てます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・60運動を推進し、レク運動 なわとび 外遊び 徒歩通学を奨励します。 ・健康増進に向けた健康教育を実施します。 ・安全に関する行事を通し、安全の大切さを理解させます。 ・感染症予防対策を徹底します。 
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習するための習慣形成に努めます。 ・テレビを消して家庭学習に取り組ませます。（ノーマディアタイムの取組） ※学習時間のめやす 低学年30分 中学年40分 高学年50分 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで気持ちのよいあいさつと返事ができるようにします。 ・毎日、仕事（お手伝い）に取り組ませます。 ・社会生活のマナーやルールについて教えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に暮らすための習慣形成に努めます。（早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき） ・健康観察など子どもの健康状態を把握します。 ・がんばったことを認め優しく励まします。

課題改善をめざす
学校経営

◎厳美小の伝統 「あいさつ・歌声・読書」



児童理解を
根本にした
学級経営

厳美小学校

6年 たんぽぽ ひまわり 5年 4年 3年 2年 1年

経営の重点

① 家庭・地域との連携・協働	② 学力向上の推進	③ 復興教育の推進	④ 心の教育の充実	⑤ 特別支援教育の充実	⑥ 健康・安全教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・「まなび・しつけフェスト」の活用 ・幼小中連携の推進 ・校報及び通信、メール配信サービスなどを活用した積極的な情報発信 ・「厳美スタディ」を通して郷土理解を図る。 ・学校評議員等を活かした学校評価と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善と指導力の向上【校内研究の充実】（文章の内容を正確に読み取り、主体的に問題解決を図る児童の育成） ・各種調査結果の活用と分析 ・学力向上月間の取組の充実 ・読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災を風化させないために、5・6年生が震災学習を行い「震災を考える集会」で下級生に伝える。 ・副読本の活用を図る。 ・ねらいを明確にした避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を要した道徳教育の充実 ・いじめ防止対策基本方針に基づいた指導体制の充実（教育相談等） ・人とかかわる力や自己有用感を高めるための縦割り班活動の充実 ・情報モラル教育の推進 ・ボランティア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育課程の充実 ・校内就学支援委員会および特別支援教育校内委員会の内容の充実 ・保護者や関係機関と連携した支援体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「厳美っ子の約束」の徹底 ・基本的な生活習慣や衛生習慣の形成に努める。 ・基礎体力の増進（60運動の推進）